

事務事業評価シート(平成27年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
53211	学校施設耐震補強事業	こども課	学校教育係	武井 庄治	林 美智恵
		一次評価年月日	平成 28 年 6 月 20 日	連絡先〔内線〕	2503
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		1026	西小学校体育館改修事業
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別			#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり
		節	(コード選択)	3節	学校教育の充実
		項〔基本施策〕	(コード選択)	2項	教育環境の充実
		目〔主な施策〕	(コード選択)	1目	学校施設の環境整備
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	27 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
町内小中学校施設(校舎・体育館)
②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。
耐震第2次診断の結果、文部科学省の定める基準値(Is値0.7)を下回る施設に対して、耐震補強工事を行い、安心・安全な学校施設にする
③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。
1 耐震第2次診断を実施する
2 Is値0.7を下回る建築物に対して、耐震補強工事を実施する
3 体育館の非構造部材について、診断及び耐震補強を実施する
4

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		26年度	27年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)		
①	指標名	耐震診断実施率		%	100	100	100	1.00	100
	説明	昭和56年以前の建築物に対する耐震第2次診断の実施割合		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	補強工事が必要か判断された建築物の割合				
②	指標名								0
	説明			算出方法・計算式・目標値設定の考え方等					

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		26年度	27年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)		
①	指標名	耐震化率		%	100	100	100	1.00	100
	説明	新耐震基準(Is値0.7)を満たす割合		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	耐震基準を満たす建物の割合				
②	指標名								0
	説明			算出方法・計算式・目標値設定の考え方等					

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成25年度 決算	平成26年度 決算	平成27年度 決算
対前年比	%	/	16154.3	142.5
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		0	29,975	319,005
B) 一般財源(税金)		993	130,456	-90,353
①事業費	(千円)	0	153,019	221,398
対前年比	%	/	#DIV/0!	144.7
②人件費の概算		993	7,412	7,254
対前年比	%	/	746.3	97.9
		年間人件費	年間人件費	年間人件費
		/	/	/
町職員(正規職員)		993	7,412	7,254
非常勤等職員(臨時職員)		0	0	0
		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。 (人件費計算シート)		

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか	C	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度) 27

事業の方向性の具体化

改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。)	28年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
建築物の耐震補強工事は平成27年度で終了した。今後は非構造部材の耐震化と、建築物の長寿命化事業にシフトしていく。	[反映内容] 南小学校体育館等改修事業費(H27繰越事業)

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
耐震補強事業としては終了したが、今後は安心・安全・快適な学校施設を目指し、計画的な改修事業に取り組む必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

➡ 上記<今後の展開方針> a~e を選択